



糖化を抑制 AGハーブMIX

体内で起こる糖化反応を抑制し、AGEs(終末糖化産物)の生成を防ぐ「守り」の抗糖化素材です。



美容面での効果

糖化が与える肌への影響はさまざま。AGハーブMIXは、ヒト試験において糖化による肌の老化現象(肌弾力/黄ぐすみ/シミ)に対して改善効果を確認しています。



AGハーブMIX 3つの特長



AGハーブMIXの4種類のハーブ



ドクダミ
東アジアに広く分布。
10種の薬効があるとして
「ジュウヤク」の名で古く
から利用されてきました。



ローマカミツレ(ローマンカモミール)
ハーブティーなどでもよく知
られるカモミール。そのなか
でも特に抗糖化作用の強い、
欧州原産のローマンカミツレ
を使用しています。



セイヨウサンザシ
別名ホーソンベリー。
海外では心臓に有用な
ハーブとして使用されて
います。赤い果実の部分
を使用しています。



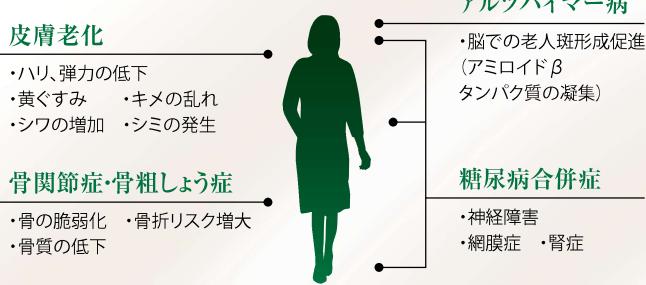
ブドウ葉
ワインの原料や食用として
広く楽しまれているブドウ
は、葉や種子にも優れた健康
効果があることが知られてい
ます。



糖化とは

体を構成するタンパク質と余分な糖が反応して起こる「糖化」。糖化により生成された「AGEs(終末糖化産物)」が体内に蓄積すると、右図のように全身でさまざまな老化現象が引き起こされます。

脳・内臓・筋肉・血管・神経・皮膚・髪・爪などはタンパク質で構成されます。糖化したタンパク質は元に戻ることはできません。そのため、糖化への対策では「糖化の抑制」と「糖化産物の排出」の2つのアプローチが重要になります。

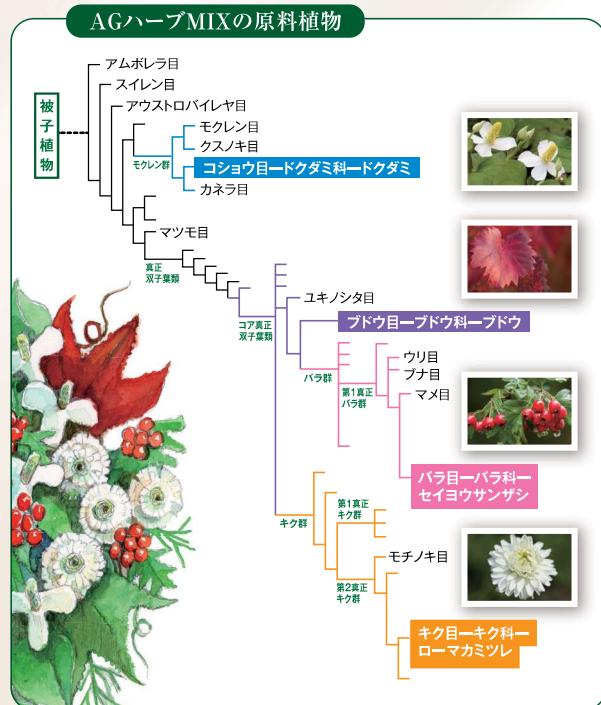
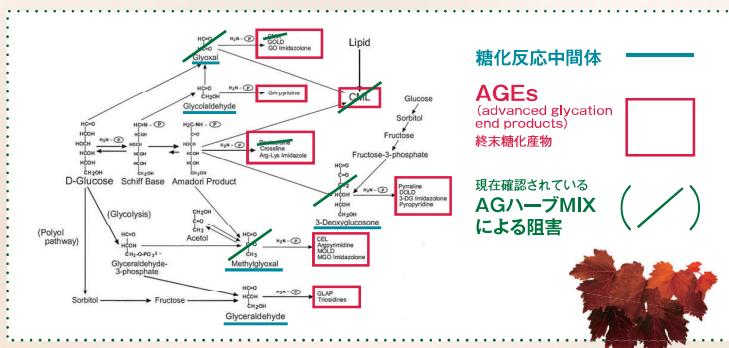


複合原料の強み

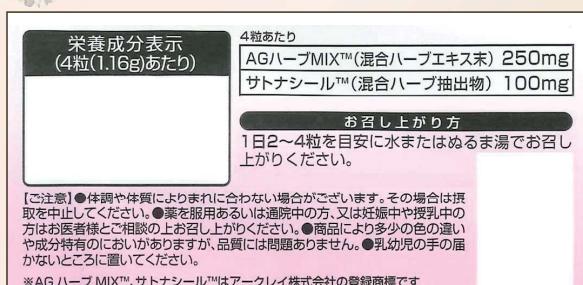
4種のハーブが、それぞれ違う糖化反応経路にアプローチ

AGEsは現在数十種類が特定されており、それぞれ違う生成経路を持っています。効率的・効果的に糖化を防ぐためには、複数ある経路に「なるべく多く・同時に」アプローチすることが重要です。

AGハーブMIXは、異なる抗糖化成分を多種類含むよう、植物分類学的に遠い種のハーブを選定しました。ドクダミ、セイヨウサンザシ、ローマカミツレ、ブドウ葉の4種のハーブが、それぞれ高い抗糖化力をもって、複雑多経路で起きる糖化反応を網羅的に抑制します。



特許・商標



【特許】

AGハーブMIXは特許を取得しています。

- 特許第4195840号 メイラード反応阻害剤
- 特許第4206479号 メイラード反応阻害剤の製造方法
- 特許第5144534号 飲食品の風味改良剤

【商標】AGハーブMIXを採用した製品のパッケージや販促などに商標(製品名)を活用いただくことが可能です。

※登録商標の御使用の際には別途、商標使用許諾契約が必要となります。詳細はお問い合わせください。

製品規格

性状	淡褐色～褐色の粉末で特異なエキス臭を有する
乾燥減量	8% 以下
ビ素	2 ppm 以下
重金属	20 ppm 以下
一般生菌数	1,000 個/g 以下
真菌数	100 個/g 以下
大腸菌群	陰性

保管方法: 密封状態で、常温保管
荷姿: 1 kg (アルミ袋)

摂取目安量

100 ~ 600 mg/日

組成

4種類のハーブの熱水抽出粉末(本品はデキストリンを含む)
 ・ドクダミ(*Houttuynia cordata*)の地上部
 ・セイヨウサンザシ(*Crataegus laevigata*)の果実
 ・ローマカミツレ(*Chamaemelum nobile*)の頭状花
 ・ブドウ(*Vitis vinifera*)の葉

用途

エイジングケア、抗糖化、美肌

使用例

サプリメント、健康食品など

表示例

混合ハーブエキス(デキストリン、ドクダミ、セイヨウサンザシ、ローマカミツレ、ブドウ葉)

